

県教育支援センター（SCHOOL“S”）と市町教育支援センター等との連携体制の構築について

～ 学びにアクセスできない児童生徒ゼロを目指す ～

県の取組

オンライン支援プログラムの共有

- 市町教育支援センターでもSCHOOL“S”チャンネルやオンライン学びプログラムを視聴できるようにしました。
- オンライン利用時に、県の指導主事による利用のサポート



支援員

オンライン配信に夢中になっていました。毎月、子供たちが次のプログラムを楽しみにしています。



SCHOOL “S” チャンネル

児童生徒支援に対するサポート

- SCHOOL“S”の公認心理師や指導主事による定期的な訪問支援
- 各所の視察や支援者同士の交流の場を設定



公認心理師の訪問

県の指導主事の訪問時に、支援について相談したり、他市町の取組を聞いたことを生かして、支援の充実を図っていきます。



支援員

市町教育支援センター見学会の実施

現地見学とオンライン見学のハイブリッド開催

〈見学内容〉

- 支援員へのインタビュー
・施設内のレイアウトの意図や工夫
・日々の活動についてその目的と児童生徒の変容等
- 質疑・応答



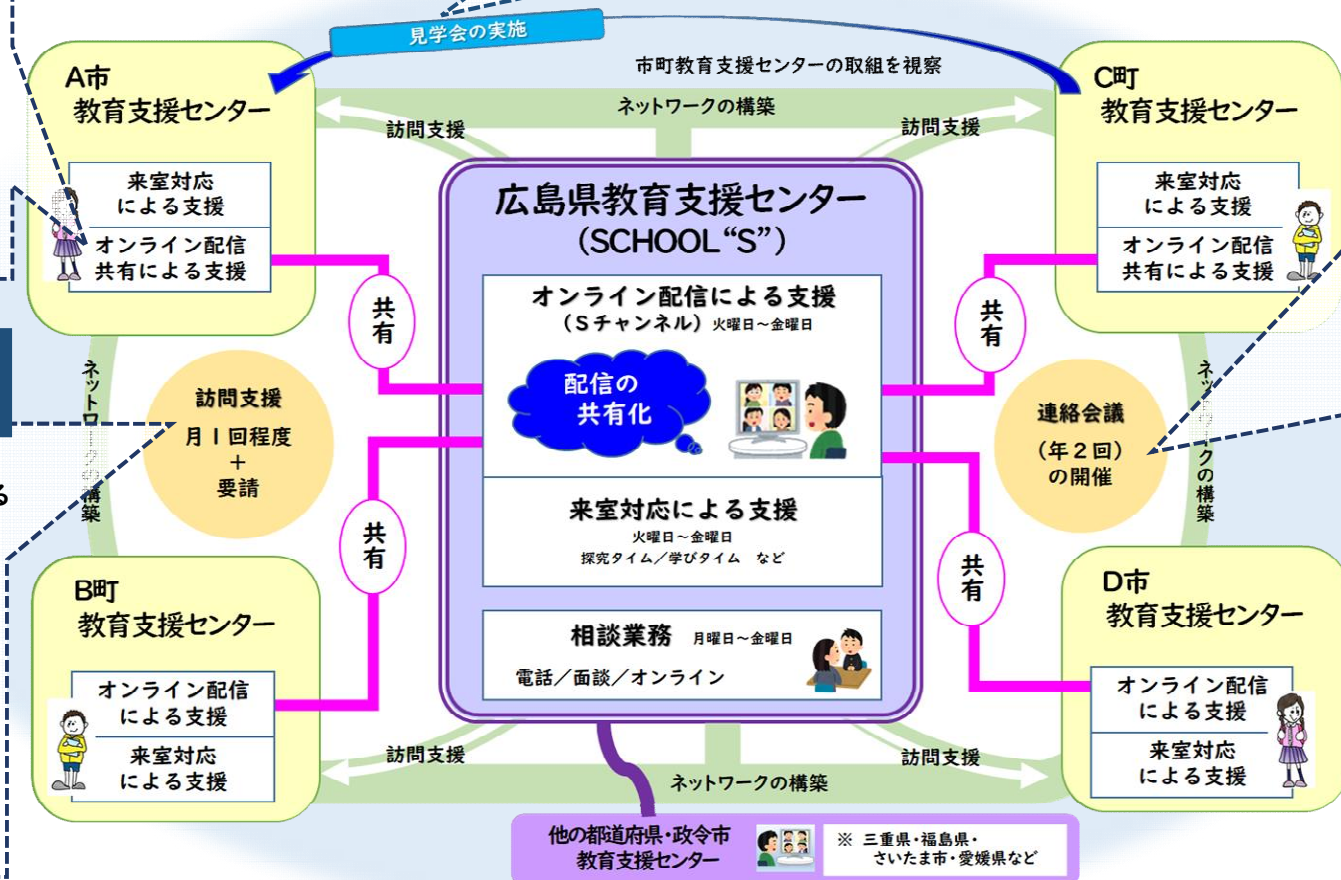
呉市教育支援センターの見学会

一時的な避難場所ではなく、社会的な力を自然に身につけられる工夫を見ることができ、勉強になりました。



参加者

教育支援センター同士で、横のつながりを強めていきたいです。



連絡会議の開催

〈実施回数〉
年2回(5月、11月)

〈会議内容〉

- 行政説明
- 交流協議
- 実践発表: 福山市教育委員会
『不登校により学びにアクセスできない子どもをゼロにすることをめざして』
～全ての子どもの社会的自立に向けた取組み～

多様な学びの場の充実に向けて、色々な選択肢を設けていることが分かりました。また、他市町の取組を交流することができ、大変有意義な時間となりました。

教育支援センターの充実について、多様な学習環境を設定し、丁寧に対応されていると感じました。学習環境を充実させていきたいです。



参加者